

第5回 第2波対策検討ワーキング 議事要旨

日時：令和2年7月31日（金曜日）16時00分～16時45分（web会議）

出席者：（専門家）猪口委員、具委員、齋藤委員、関谷委員

（東京都）梶原副知事、吉村福祉保健局長、矢内福祉保健局技監、
矢沢医療政策部長、武田感染症対策部長、吉田感染症危機管理担当部長、
杉下新型コロナウイルス感染症対策担当部長

1 東京版CDC構想について

- ・社会から期待されているのは専門家集団。センター長含め、顔が見えている組織にする必要があるのではないか
- ・平時に動かないと危機発生時にも動かない。日ごろ保健所や東京都健康安全研究センターでやっていることが危機発生時にどう動いていくのか見えるとよいと思う
- ・東京版CDCは非常に楽しみな内容。機能は理解できたが、組織を明確に示すことが必要
- ・外部人材の雇用メカニズムと、内部の人材で核になる人をどう育てていくかが課題
- ・内部人材の育成が重要。FETPへの派遣は以前都も行っていたが、優秀な人材を育成できるようにしていくべき
- ・リスクコミュニケーションについては日ごろからメディアと顔の見える関係づくりが重要

2 検査体制の拡充について

- ・24時間体制が組み立てられている救急医療機関に設置してある検査機器を有効に使えるよう、他の救急医療機関から検体を運んで検査ができる体制も検討すべき
- ・現状のやり方としては問題ないが、スポーツ選手やこれから外国へ行く人のスクリーニングなどにも検査は必要となってきた。エピセンターが見つかったときなどだけではなく、そういった検査も過不足なくできるようにしてほしい。

3 医療提供体制の拡充について

- ・専門病院についても検討すべき